あらゆるニーズにお応えする総合印刷企業。
株式会社 ナガノ
●凸版、オフセット、シルクスクリーン、シール、ラベル印刷機による感圧性接着紙及び一般紙の印刷加工。
●ノベルティ、プレミアムなどのプラスチックスによる製造加工。
tel. 03・3861・1391(代表) 03・3851・4734
http://www.nagano-printing.co.jp/

NO. 963
平成21年（2009年） 9月1日（火）
1・15日発行
発行所 ラベル新聞社
東京都千代田区東神田3－1－13
神田浅草橋ビル 〒101-0031
電話(03)3866-6577 FAX(03)3866-0105
http://www.labelshimbun.com
編集・発行人 田副 徹
年間購読料15,750円 1部 660円

ラベル新聞

THE LABEL SHIMBUN
©ラベル新聞社2009 【昭和44年9月30日第三種郵便物認可】

Hologram -ホログラムフィルム-
Lenticular -レンチキュラー-
COBURN JAPAN CORPRATION
日本コーバン(株)
東京 TEL(03)3553-5721
大阪 TEL(06)6311-5214
URL:http:// coburn.jp /

日印機工

ロゴマーク決まり年内に制度化

ジャパンカラー認定制度（枚葉オフ）始動へ

㈱日本印刷産業機械工業会（小森善治会長）はこのほど、オフセット枚葉印刷の標準印刷色「枚葉印刷用ジャパンカラー2007」を基準とした「JapanColor認証制度策定委員会」で選考した結果、田口雅さん（㈱シーシーエス）が制作した作品が同制度の理念・理想を表現し、ブランドとして確立するためにもっともふさわしいとして選ばれた。

田口さんは「正方形の持つ、安定・基準・正確などをイメージした中に〝JC〟を入れ込んだ。JapanColorが日本の色彩の、確実で揺るぎないスタンダードとなるようなロゴマーク。CMYKの色展開とはっきりした書体で、縮小しても見やすく、ほかのマークと並列しても使用しやすい」とコメントした。

ロゴマークは、ホームページや業界紙誌で周知するほか、認証を受けた企業が名刺に記載することを認めるなどの知名度向上をはかる。また日印機工では、これまで認証基準として「水準2」「水準1」と呼んでいたのを新たに「標準印刷認証」「マッチング認証」と名称改定したことを発表した。

同制度はISO国際標準との整合性をはかり、日本の標準的な色基準であるジャパンカラーに基づいて適切に印刷する印刷会社らに行う認証。

デザインやアートワークと印刷時点では、色に大きな差異があるという問題を解消するため、印刷機器に対する認証制度として立ち上げた。

印刷会社は品質の安定や損紙やインキ量、工数などのコストダウンに加え、品質保持能力や技術力、先進性といった企業イメージをアピールできる。一方、印刷機メーカーは、印刷会社が印刷機のメンテナンスやクリーニングなどを高い水準で維持する必要があるため、既存の機器のトラブル減少、新規受注や買い換え需要の喚起が期待できる。また、制度の難易度は比較的高いものにするという。

8月までに3回の制度策定委員会と13回の専門家ワーキング（印刷会社向けの認証制度を検討）、7回のプルーフワーキング（プルーフなどの認証制度を検討）で議論している。

先行して印刷会社向けの認証制度と、デザイン関連企業も対象にしたプルーフ認証制度を推進している。

制度は日印機工で取り組みを進めており、策定委員会（西岡貞一委員長・筑波大大学院図書館情報メディア研究課教授）は経済産業省、学識経験者、広告代理店、印刷会社、製紙会社、印刷機メーカー、プルーフメーカー、インキメーカー、㈱日本印刷学会、㈱日本印刷産業連合会などで構成される。

ロゴマークは5月に公募し、全国から42点が応募。「JapanColor認証制度策定委員会」で選考した結果、田口雅さん（㈱シーシーエス）が制作した作品が同制度の理念・理想を表現し、ブランドとして確立するためにもっともふさわしいとして選ばれた。

田口さんは「正方形の持つ、安定・基準・正確などをイメージした中に〝JC〟を入れ込んだ。JapanColorが日本の色彩の、確実で揺るぎないスタンダードとなるようなロゴマーク。CMYKの色展開とはっきりした書体で、縮小しても見やすく、ほかのマークと並列しても使用しやすい」とコメントした。

ロゴマークは、ホームページや業界紙誌で周知するほか、認証を受けた企業が名刺に記載することを認めるなどの知名度向上をはかる。また日印機工では、これまで認証基準として「水準2」「水準1」と呼んでいたのを新たに「標準印刷認証」「マッチング認証」と名称改定したことを発表した。

同制度はISO国際標準との整合性をはかり、日本の標準的な色基準であるジャパンカラーに基づいて適切に印刷する印刷会社らに行う認証。

デザインやアートワークと印刷時点では、色に大きな差異があるという問題を解消するため、印刷機器に対する認証制度として立ち上げた。

印刷会社は品質の安定や損紙やインキ量、工数などのコストダウンに加え、品質保持能力や技術力、先進性といった企業イメージをアピールできる。一方、印刷機メーカーは、印刷会社が印刷機のメンテナンスやクリーニングなどを高い水準で維持する必要があるため、既存の機器のトラブル減少、新規受注や買い換え需要の喚起が期待できる。また、制度の難易度は比較的高いものにするという。

8月までに3回の制度策定委員会と13回の専門家ワーキング（印刷会社向けの認証制度を検討）、7回のプルーフワーキング（プルーフなどの認証制度を検討）で議論している。

先行して印刷会社向けの認証制度と、デザイン関連企業も対象にしたプルーフ認証制度を推進している。

制度は日印機工で取り組みを進めており、策定委員会（西岡貞一委員長・筑波大大学院図書館情報メディア研究課教授）は経済産業省、学識経験者、広告代理店、印刷会社、製紙会社、印刷機メーカー、プルーフメーカー、インキメーカー、㈱日本印刷学会、㈱日本印刷産業連合会などで構成される。

JAPAN COLOR

食品表示共同会議

報告書を最終調整

今後は消費者庁へ移管

消費者庁への引き継ぎにあたり、各委員から意見が述べられた

食品の表示に関する共同会議（田島眞座長・実践女子大教授）が8月28日、農林水産省で開催された。

同会議はこれまで、農水省と厚労省の主管で行われてきたが、9月1日の消費者庁発足で消費者行政が同庁に移管されるため、同会議も今回が最後の開催となった。各委員からは会議の解散にあたり、今後の課題や議論に対する意見が述べられた。

主な意見では、報告書にある「原産地表示が安全性を保証しない」という文言に対して、「消費者庁では、原産地表示と安全性について、踏み込んだ議論をして欲しい」といった要望があがった。

また、別の委員からは「共同会議の設立理由である食品表示の適正化を踏まえ『原料原産地表示は拡大されるべき』という基本的な考え方は、引き継いで欲しい」という意見が示された。

このほか、欧米で関心が高いカントリー・オブ・オリジン（国や地域のイメージ）について見解が述べられ「原産地が違えば、食品の品質も異なるはず、これらのことを今後、検討すべき」と新たな議題も提示された。

今後、食品の表示に関する問題に関しては、消費者庁発足後に、委員会が設立され、新たに議論を行う予定。

シール印刷についてお困りの事はございませんか?
●ムラのないアルミベースの**ゼンマイ刃**
●マシニング加工&フッ素コート仕上げの**フレキシブルダイ**
●凸版CTPとデータの細工でシール印刷に最適な**樹脂版**
●その日出荷の**亜鉛版**(1mm,1.3mm)
〒179-0075 東京都練馬区高松6-19-25 ☎03-5393-3172
ホームページ http://www.hagata.co.jp
PREPRESS FOR SEAL ㈱フナミズ刃型製版

創刊40周年 特別インタビュー ▶4

落語家
三遊亭好楽さん

1946年、東京都豊島区生まれ。66年、林家正蔵（後の彦六）に入門し、「九蔵」を名乗る。81年、真打昇進。83年、師匠の死にともない、三遊亭圓楽門下に移籍し、「好楽」に改名。現在、日本テレビ系「笑点」に出演中（ピンクの高座着）。2006年、芸歴40周年を迎えた

Key Word キーワード
■「お酒」の失敗はセーフ
■「ルール」「礼節」があって楽しめる

――本紙は今年、創刊40周年を迎えました

それはおめでとうございます。私も林家正蔵の門を叩き、落語家としての道を歩み始めてから43年が経ちましたので、私の芸歴とほぼ同じですね。

私は兄弟8人の6番目であり、幼いころはかなりやんちゃな性格でしたので、母親からこっぴどく怒られることもしました。時には、包丁やはさみが飛んできたこともありました（笑）。

私たち家族は、父親が早くに亡くなったため、母親が女手一つで私たち兄弟を育ててくれました。朝から晩まで働きづめで、教育の面でも、私たち兄弟、特に私に対して鬼のように怖かったんです（笑）。

そんな母親でしたが、夜10時くらいにラジオを聞いている時は機嫌が良く、いつも楽しそうに笑っている。幼い私は「あんなに怖い母親が笑い転げるほど面白いラジオの内容って何だろう」と思っていたのですが、それが「落語」だったんです。母親としてはそれが唯一の楽しみだったのでしょう。それからですね、落語に初めて興味を持ったのは。

やがて高校生になってから、再度落語に魅せられて、林家正蔵に弟子入りを志願。4日目にしてようやく許されました。

――当時のエピソードを

優秀だったんで、失敗による面白い話はないですね…まあ嘘ですが（笑）。

私はお酒の失敗が本当に多かったのです。けれども、「お金」がらみの失敗はダメです。仲間の信用も、何もかもが壊れてしまうから。「お酒」の失敗は大丈夫（笑）。

――仲間といえば、ラベル業界も「ラベル製造技術」に基づく同業者間の結び付きが強いです

すばらしいことですね。われわれの業界も、先達が創り上げてきた「落語」という財産を未来に向けて『継承』していく職業であり、誰かがそれを独り占めするものではありません。

ルールの中で生まれる〝笑い〟

た。酔っぱらって師匠の荷物をどこかに置き忘れてしまったり、電車で寝過ごしてしまったり…。何度、破門の危機に陥ったか、自分でも分からないほどです。

もっとも落語はある意味〝しゃれの世界〟であり、とかく「お酒」と「女性」の失敗は笑い飛ばしてしまうことが多いのです。

皆がそれぞれ自分たちの技術を磨いて、その財産を生かしていくのです。

産業界の中では、ライバル企業との厳しい価格競争に打ち勝って売り上げを伸ばすといった話も耳にしますが、それよりもお互いに個性を生かし、皆で伸びていく業界の方が、将来性があるのでは。落語の世界は、まさにそうです。

私は真打ち昇進後、師匠の死をきっかけに、三遊亭圓楽一門に移りましたが、これも落語の世界における良好な横のつながりによるもの、といえますね。

――好楽さんは「笑点」メンバーで有名ですね

「笑点」は個性的な出演者の中で、いかに「番組として自分の個性を創り上げていくか」が重要。ほかのメンバーと同じではダメであり、テレビ番組の演出家に押し付けられるものでもありません。

そして「ルールの中でいかにお客さんを楽しませるか」にひたすら力を注ぎます。ビジネスでもスポーツでもそうですが、ルールの中で競うから面白いのです。誰か一人でもルールを破ってしまったら、その瞬間から楽しさは失われてしまうものですし、結局そこから何も生み出されることはないでしょう。

「笑点」のルールでは、誰かが話している時は、絶対にそれを邪魔しない。「話している人がその時のスター」であり、皆でそれを盛り立てる。続いて、次の人が話し始め、それを皆で盛り立てる…その繰り返しであり、そこに笑いが生まれるのです。

――ルールを守ることは重要ですね

私には現在、4人の弟子がいますが、いずれも礼節はうるさく指導します。指導方法に関しては、やはり弟子の個性によって変えています。落語は、日本の〝義理堅さ〟が今でも息づいている世界であり、例えば冠婚葬祭の多さなどは、他の業界からすれば驚くかもしれません。だからこそ、礼節はとても大切。中には落語の技術力を厳しく指導される師匠もいらっしゃいますが、私はそれよりも礼節を優先します。

弟子もそれを良く理解してくれているようですね。

――息子さんも落語家と聞きましたが

三遊亭王楽といいまして、今年10月、真打昇進となります。師匠は私と同じ圓楽であり、親子ながらも兄弟弟子の関係です。10月1日(木)から2日間、「横浜にぎわい座」で真打昇進披露公演も行います。私も高座に上がりますので、ラベル業界の皆さんにもお越しいただき、楽しいひとときを過ごしてもらえたら、と思います。

（聞き手・内田）

MORISHITA SEIHAN
版(銅・亜・樹・CTP)型(ゼンマイ)の当日発送しております
ゼンマイ刃／フレキシブルダイ／エッチング刃／NC彫刻刃型／CTP樹脂凸版／樹脂版／銅版／亜鉛版／ホットポリマーダイ／各種バーコードフィルム・版下製作／フィルム出力
プリプレスのことならお任せください。
有限会社 森下製版
〒111-0056 東京都台東区小島1-4-11
TEL 03-3861-2378(代) FAX 03-3861-2489
URL : www.ms-seihan.co.jp
e-mail : morishita@ms-seihan.co.jp

おかげさまで 創刊40周年

紙面から

レーザー刻印で偽造防止
「ラクテルのセキュリティQRラベル」 2
世界のサプライヤー
「オメット」 3
展示会ハイライト
「自動認識総合展」 4～5
新理事長に聞く
「九州協組・柴田健一氏」 7
東海北陸協組三役座談会 8～9
ラベルエキスポヨーロッパ09 10

那須第2工場が稼働 東日本の拠点増設

OSP

大阪シーリング印刷㈱（大阪市天王寺区小橋町、松口正社長、☎06・6762・0001）は8月24日、関東生産部那須第2工場（栃木県那須塩原市井口）の稼働を開始した。

那須工場はこれまで、東日本地域の生産拠点として展開してきたが、今後「多品種・小ロット・短納期」を一層実践していくため、このほど那須第2工場を竣工。24日から操業を開始した。

同工場は、第1工場同様、那須塩原インターチェンジ近くに位置する井口工業団地内に設立。同団地入口に立地しているため、来訪者にアクセスしやすい工場となっている。敷地面積は3万2500平方㍍で、工場の延べ床面積は1万平方㍍の鉄筋3階建て。

設備は、凸版輪転機中心で、今後、東日本の新たな生産拠点としてユーザーニーズに柔軟な対応を図っていく予定にしている。

ハイ・アングル

衆院選は民主党が歴史的な大勝を収めた。一方、自民党は結党以来、初めて第一党の座を追われ、こちらは敗北を味わった。勝敗がこれほどくっきり分かれる勝負も珍しい。勝者と敗者は存在したが、本当に国民のために努力する、そんな人物は現れただろうか▼最近、こんな言葉に出会った。「勝者でも、敗者でもなく、勇者になろう」。「勝ち組、負け組」などという流行語が誕生して以来、勝ち負けでしか物事をとらえられない風潮が漂う。しかし、尊敬や感動は、勝者にだけ存在するのだろうか。世の中には、勝ち負けでは語れない何かがあるはずだ。それを「勇者になろう」は端的に言い表していると思う▼ラベル業界には景気後退の中、製品や技術、サービスを地道に開発する勇者がじつに多い。資機材メーカーの多くが次の新製品を模索しており、取り組みは数知れない。また、印刷会社も従来品に手を加え、さまざまに組み合わせて新たな製品を生み出している。「ほかにはまだ言えないが」と開発中の製品を拝見する機会も多々あり、そのたびに発想の豊かさ、ものづくりのすばらしさを痛感する。大企業であれば、開発を専門部署で行うのだろうが、中小零細企業では仕事の合間、終業後に少しずつ開発を進める場合がほとんどだ。もちろん、すべての開発品が成功するわけではない▼成功や勝利の味は長く続かない。経営学者のピーター・ドラッカーは「いつまでも幸せに暮らしました。というのはおとぎ話の中だけ」との言葉を残した。人間は一つの勝利が永遠の幸せを約束しないことを、肌で知っている。だからこそ、勝っておごらずが美徳とされるのだ。まして自分のことしか考えぬ、亡者になり果てることはあってはならない。勝敗にかかわらず努力を重ねる勇者を尊ぶ、そんな日本、そしてシール・ラベル業界であって欲しい。

王子製紙グループの一員として、
9月1日からスタートします

原紙事業本部
■シール・ラベル用ロールタック
■オフセット(ラベル)用平版タック
■各種粘着テープ
■フォーム輪転用ロールタック

メディカル事業本部
■粘着ドレッシング
■固定用粘着シート／粘着包帯
■冷却シート・ゲル

加工品事業本部
■両面・片面荷札■リポスト■粘着ラベル
■輸送パック■オフセット平版ラベル
■OAラベル■フォーム用タック■マルチタック
■カラーインクジェットプリント用タック

機能製品事業本部
■フィルム原紙
■大判プリンタ用ロールタック
■フィルム平版

TAC 新タック化成株式会社
本社（川之江工場） 〒799-0197 愛媛県四国中央市川之江町長須222-2 TEL 0896-58-4141(代) FAX 0896-58-4850
東京支店 〒132-0034 東京都江戸川区小松川3-3-2 TEL 03-5609-5657(代) FAX 03-5609-5659
大阪支店 〒537-0002 大阪市東成区深江南3-1-3 TEL 06-6974-7777(代) FAX 06-6974-7747
名古屋支店 〒460-0012 名古屋市中区千代田5-4-23宇徳ビル TEL 052-261-6200(代) FAX 052-261-6299
仙台支店 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町3-9-4 TEL 022-239-6881(代) FAX 022-239-6883
福岡支店 〒812-0042 福岡市博多区豊1-8-20F・Kビル4号室 TEL 092-473-8577(代) FAX 092-473-8578
豊中工場（四国支店） 〒769-1504 香川県三豊市豊中町上高野4148 TEL 0875-62-6111(代) FAX 0875-62-6115
山本工場 〒768-0104 香川県三豊市山本町神田乙288-25 TEL 0875-63-1221(代) FAX 0875-63-1288